

第3回 環境保全、情報発信WGの開催結果	
日時	平成24年3月2日(金) 10:00~12:00
場所	亀岡市役所 4階会議室
出席者	<p>NPO法人プロジェクト保津川 副代表理事 原田 禎夫 グループ長 保津川遊船企業組合 エコ・グリーン対策委員長 森田 孝義 西つつじヶ丘自治会 会長 小松 康之 亀岡駅周辺地区まちづくり協議会 会長 (順不同、敬称略)</p> <p>亀岡市秘書広報課 山内副課長 // 環境政策課 山内係長 // 桂川・広域交通課 柴田副参事、竹村主査</p> <p>(事務局) 京都府南丹土木事務所 企画調整室 後田補佐 // 河川砂防室 松崎室長、井尻副室長</p>
内容(次第)	<p>1)開会 2)前回の振り返り 3)議事 ○今後の具体的な取り組み案について ○先進地調査について 4)閉会</p>
結果	<p>○当面の取組みとして以下の内容の具体化を図っていく。 (環境保全) 1)桂川クリーン大作戦への継続参加 2)亀岡市環境美化条例「美化推進重点地域」の指定と、それを契機とした地域ぐるみでの環境保全活動の枠組みづくり等 3)市民がわかりやすい指標で河川環境を評価して環境美化につなげていく「川の通信簿」 4)「第10回海ゴミサミット2012亀岡保津川会議」との連携 5)ゴミを捨てにくい環境づくりとしての「野焼き」等 (情報発信) 1)保津川かわまちづくりのHP開設 2)様々なチャンネルを活用した情報発信 ○これらの取り組みを進めていく上で必要となってくる予算について、各種団体や企業の助成等の活用を検討していく。 ○先進地として円山川(豊岡市等)における環境保全の取り組みを視察する。</p> <p>(主な意見) {環境保全} ・「川の通信簿」の内容等が来年度に大きく変わる。今後は一般の河川(任意の場所でも)にも適用していくことができ、携帯電話からも評価できるようになる予定。かわまちづくりにも活用していったらどうか。 ・川に対する意識が変われば、今まで憩いの場でなかった箇所が憩いの場になれば、川の魅力が取り戻される。 ・「海ゴミサミット」が今年8月24日~26日に亀岡で開催される。これに先立ち、小中学校に協力をいただいて間伐材をスライスした浮きを川に流し、ゴミの流れ方を調査することで、川に関心を持ってもらうことを検討している。かわまちのHP等でも周知してはどうか。 ・美化推進を図っていく上で、かわまちをモデルとしていければと考えており、海ゴミサミットを契機に何かを残したい。 ・保津町で堤防の草焼きを近々に実施される予定なので、後日ヒアリングを行い、今後につなげていったらどうか。 ・堤防の草焼きについて、東京荒川では、苦情の関係から夜に実施している。一気に燃やすと危ないので、少しずつ火を付けて、消防車なども待機してもらえれば問題ないのではないか。</p>

{情報発信}

- 保津川かわまちづくり推進協議会として、年度末を目標にHPを立ち上げる予定。次年度以降に充実を図っていきたい。
- 保津川かわまちづくりについて、亀岡市のHPでの発信や3月末完成予定の亀岡市の広報ビデオでも取り上げることとしており、市役所、小中学校等での放送を予定している。
- HPの作成等について、推進協議会としての予算が限られているため足かせとなっている。山形県の最上川フォーラムは、県や民間からの補助金を受けている。
- 保津川かわまちづくり推進協議会として、民間から資金の受入や団体への補助ができるような仕組みについて検討してはどうか。その際には、推進協議会に監事、会計などを設置することが必要。
- 京都から20分程度でこんなすばらしいまちがあるという宣伝もあると思う。

{その他}

- 先進地調査予定の円山川については、コウノトリ保護に関して、企業と密着した取り組みがされているようだ。

